

令和2年2月3日(月)

千葉市立白井しらい小学校 鈴木康太

ユネスコスクール 実践報告

「ユネスコスクール」による国際理解教育と地域の協力を生かした活動

【ユネスコスクール研究主題】

豊かな心を持ち、たくましく生きる白井っ子の育成
～知ろう！話そう！白井のこと、世界の国のこと～

1 はじめに

本校は、明治6年の開校から140年以上の歴史と伝統をもち、地域の協力と泉自然公園が隣接しているという自然環境に恵まれた学校である。学校教育目標の「確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく共に生きる白井っ子の育成」を掲げ、この地区の人々が育んできた自然と伝統を受け継いでいくとともに、世界に目を向けて、異なる文化や習慣をもった人々と共に生きていく資質や能力を育てていきたいと考え、研究主題を設定した。

下学年では、「世界には、自分の住んでいる地域とは異なるいろいろな文化や習慣があることを知ること」、上学年では「世界(外国の地域)と日本(白井地区)と異なる文化や習慣があることに気付くこと」をめざして実践をしていった。

2 実践内容①【国際理解】

(1) 第9回ユネスコスクール

①期日 令和元年10月17日(木)

10:00～12:05

②会場 体育館

③参加者

ア 校内 (全校児童186名、職員13名)

イ 校外 (保護者・祖父母等5名)



(2) 関係機関との連携

①千葉ユネスコ協会

②ハテマロ会

(3) 日程・内容・方法

本校は、千葉ユネスコ協会と千葉大学留学生課の協力により、これまでにネパール(22年度)、スリランカ(23年度)、インドネシア(24年度)、マレーシア(25年度)、韓国(26年度)、ベトナム(27年度)、メキシコ(28年度)、中国(29年度)との異文化交流をさせていただくことができた。今年度は千葉ユネスコ協会の岡本博幸先生や高井義信先生とハテマロ会の協力を得ながら、ネパールの方と異文化交流を行った。当日は、保護者にもお知らせし、より多くの方に参観してもらえるようにした。

<ユネスコスクール実施前の取組み>

昨年度までの実践から、児童の関心意欲を高め、効果的にユネスコスクールを実施するためには、「事前学習⇒当日⇒振り返り」といった学習過程を大切にしていく必要がある。そこで、今年度も事前学習として全校にネパールの国土や料理、世界遺産についてのワークシートを配付し、それぞれの学年の児童の実態に応じた取組みを行った。5・6年生は、社会科の時間に日本とネパールとのかかわりを学習して当日に臨んだ。また、実施前のユネスコ・ハテマロ会・小学校担当者の打合せでは、児童とネパールの方が心の通った交流ができるように目的を確認した。

<当日の活動の様子>

ユネスコ協会・ハテマロ会の方の挨拶に始まり、ネパールの自然を描いた映画「カタプタリ ～風の村の伝説～」を全校で鑑賞した。鑑賞後には映画を撮った伊藤監督から映画についての紹介や説明があり、またネパール大震災についてのプレゼンテーションもあった。

映画鑑賞の様子



ネパールで1カ月生活した2年生の男児が当時のことを作文にして発表してくれた。日本とネパールの違いや困ったこと、うれしかったことなど、実体験をもとにした発表に、子供たちも真剣な表情で聞き入っていた。ネパールへの興味・関心が高まっていたようだった。

<ユネスコスクールのプログラム>

【はじめの会】

- ・はじめの言葉
- ・学校長挨拶
- ・ユネスコ協会、ハテマロ会の皆さんの紹介

【交流会】

- ・第一部 「カタプタリ～風の村の伝説～」
- ・休憩
- ・第二部 ネパールについての紹介
 - ① 映画紹介・撮影について
 - ② 歴史・宗教・文化について
 - ③ ネパール大震災について

【お礼の会】

- ・お礼の言葉、
- ・花束贈呈
- ・書き損じハガキ贈呈
- ・おわりの言葉

【会食】

- ・校長室にて会食



<ユネスコスクール実施後の取組み>

ユネスコスクール実施後の感想を書き、振り返りを行った。

<児童の感想より>

ネパールは、お祭りがいっぱいあったり、食べているものも似ていたりしました。私はいつかネパールに行って、ネパールの人と仲良くなりたいと思いました。2020年には東京オリパラがあります。ネパールや他の国の人にも来てもらって、日本がどんな国かを知ってほしいと思いました。外国の人と話せるように外国語を勉強したいです。

<書き損じハガキの回収>

年間を通して、児童会の活動として各学級に書き損じハガキ BOX を設置し、回収を行っている。校内放送でどのように使われているのかを知らせ、協力を呼びかけた。集まった書き損じハガキを今年度もユネスコスクールの時に児童代表が手渡した。

3 実践内容②【地域の特徴】

(1) 泉自然公園での全校遠足・オリエンテーリング



- ①期日 4月・10月
- ②活動場所 泉自然公園内
- ③参加者 全校児童
- ④内容 学校に隣接する泉自然公園を利用して、春の全校遠足や秋のオリエンテーリングを行っている。木々の匂いや鳥の鳴き声など四季の移ろいを感じながら、縦割り活動を行い、学年を超えた交流を深めている。

(2) 6年縄文土器焼き

- ①期日 4～6月
- ②活動場所 校庭(いずみ台)
- ③参加者 6年生・地域協力員
- ④内容 地域から見つかる土器のかけらを発端に歴史の学習を始め、実際に作り方を学びながら自分の手で「マイ土器」を製作する。成形し、乾燥させ、実際に敷地の一角で焼いてみることで、昔の人々の生活の様子に興味を持てるようにする。



(3) どんど焼き

- ①期日 毎年1月の下旬
- ②活動場所 地域の方の敷地
- ③参加者 6年生・地域の協力者
- ④内容 どんど焼きは、子供たちの無病息災を祈り正月飾りなどを焚きあげる。地域の方々が事前に木の枝や竹を切って予め準備し、前日に6年生とともにやぐらを組む。当日児童は、書き初め作品やならせ餅を持参し、地域の方々とともに伝統行事を行う。その後、地域の方や警察の方からのお話を聞きながら、交流を行う。



4 実践を振り返って

ユネスコスクールに加盟し9年目を迎え、千葉ユネスコ事務局の方、地域の方の協力を得て、様々な体験活動を行うことができた。自分の住んでいる地域のことを知り、地域を愛する心を育てるために、これからも学校を中心として保護者や地域の方々と連携を図りながら、「豊かな心をもった白井っ子の育成」を目指してより一層の教育活動の充実を図っていきたい。